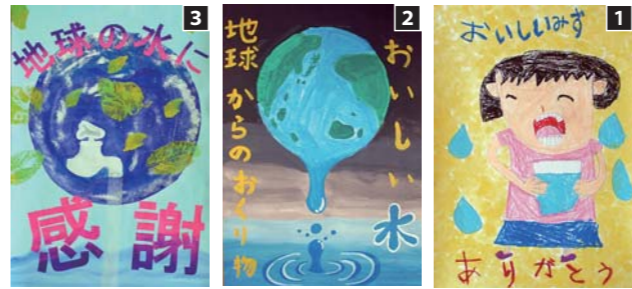


Information 03

水道週間作品コンテスト 入賞者を紹介します

市で開催した「第64回水道週間作品コンテスト」に市内の小中学生、一般から398名の応募がありました。各部門の優秀な作品は、水道週間協賛懸賞募集(日本水道新聞社主催)に出品し、作文小学生の部で櫻井美月さん(登米小)、須藤早彩さん(米川小)、作文中学生の部で菅原莉心さん(津山中)、大森奈々さん(津山中)が入選しました。入賞者は次の通りです。

- 図画小学生低学年の部
【特選】千葉咲奈(加賀野小)
【入選】松永真琴(佐沼小)、櫻井美月(登米小)、千葉真央(加賀野小)
● 図画小学生高学年の部
【特選】千葉莉緒(北方小)
【入選】大内咲希(米山東小)、佐藤煌士(石越小)、佐藤菜々子(玉江小)
● 図画中学生の部
【特選】倉内恵太(登米中)、斎藤麗惺(豊里中)、高橋芳佳(中田中)
● 習字小学生低学年の部
【特選】唐橋己盡(佐沼小)
【入選】須藤未帆(米川小)、須藤彰大(米川小)、鈴木志稀捺



1 図画小学生低学年の部/千葉咲奈(加賀野小) 2 図画小学生高学年の部/千葉莉緒(北方小) 3 図画中学生の部/倉内恵太(登米中) 4 習字小学生低学年の部/唐橋己盡(佐沼小) 5 習字小学生高学年の部/佐藤心璃愛(米谷小) ※受賞作品は上下水道部ホームページに掲載しています

Information 04

障害者控除対象者認定書・おむつ使用確認書を発行します

税申告用に要介護者の障害者控除と、おむつ代医療費控除の証明書を発行します。
● 障害者控除
【対象者】認定基準日(令和4年12月31日、令和4年中に亡くなられた人は死亡日)に65歳以上で、要介護1〜5の認定を受けている人
▼ 要介護1〜3 障害者控除
▼ 要介護4、5 特別障害者控除
【手数料】無料
※ 障害者手帳などを持っている場合は、手帳の提示で控除が受けられます
※ 要介護4、5で特別障害者控除の対象になる場合は、手帳の等級によって認定書が必要な場合があります
● 医療費控除
寝たきりでおむつを使用している場合、おむつ代が医療費控除の対象になります。
【対象者】おむつ代の医療費控除適用が2年目以降で、要介護認定時の主治医意見書により、寝たきりでおむつが必要なることを確認できる人
【手数料】1通300円
※ おむつ代の医療費控除を初めて受ける場合(1年目)は、医師の証明が必要です。証明書の様式は、各総合支所市民課窓口にあります
● 手続きについて
【申請期間】1月4日(水)〜3月15日(水)
【申請先】
▼ 各総合支所市民課(市民係)
▼ 福祉事務所長寿介護課(認定審査係)
【申請者】本人またはその親族
【申請に必要なもの】対象者の介護保険被保険者証、申請者の本人確認ができるもの(運転免許証、マイナンバーカードなど)
【問い合わせ】福祉事務所長寿介護課(認定審査係)
☎0220(58)5551

病院事業だより

12 市立病院における医療安全対策

～市民の皆さんと未来の病院事業と一緒に考えるため、登米市病院事業についてシリーズで紹介します～

■ 市立3病院における臨床検査室の役割

臨床検査技師は、医師の指示のもと各種検査を行い、その結果を報告することで病気の診断や治療に役立てるとともに、感染症の拡大防止などの役割を担っています。
検査は2種類に分けられ、血液や尿、微生物など患者の体から採取したものを検査する「検体検査」と、心電図やエコー検査、呼吸機能検査など、直接診ることができない病状などを機器などで計測する「生理学的検査」があります。検査には、機器が自動的に測定数値を出力することで、1時間程度で結果の出るものから、細菌検査のように一定期間の培養(餌となるものの上に細菌を植え付け繁殖させること)を行い、数日間かけてようやく結果が出るものもあります。また、エコー検査では、患者の腹部などの状態を、画面を見ながら的確に判断して撮影を行うなど、一定の技術を要する検査もあります。近年の医療技術の進歩や分業化に伴い、年々取り扱う検査対象が広がっており、各病院において果たす役割は大きくなってきています。

Interview

医療向上に向けて



市民病院臨床検査室 石川 和浩 臨床検査技師長

市民の皆さんは、自分の採血検査データを見たことがあると思いますが、臨床検査室では、正しい治療に結びつけるために、皆さんの体の状態をデータとして、医師に提供しています。
データには、測定結果に誤差が生じないように「精度管理」(同じ検査値が出るコントロール物質を測定して、検査の質を保つこと)を行い、常に迅速で正確なデータが提供できる体制を維持しています。スタッフ一同、より良い医療の提供を心掛けていきますので、よろしくお願ひします。

臨床検査室の紹介



多項目分析装置により一度に57項目の検査が可能



感染力の強い病原体を検査するときは、防護服を着て感染対策を徹底



登米市民病院では、検査用の血液採取を臨床検査技師が担当



迅速PCR検査装置を導入し、新型コロナウイルス感染症の感染対策を強化

【問い合わせ】 登米市民病院管理課 ☎0220(22)5511